



前谷地小
5年生

鎌使って稲刈り体験 収穫喜び、大変さも実感

石巻市前谷地小の5年生14人が20日、同校近くの水田3区で稲刈りを体験した。5月に植えた「ひとめぼれ」の収穫の喜びをかみしめながら、手刈りの大変さを実感した。児童たちは鎌を器用に使いこなし、強風に揺れる稲穂を1株ずつ刈り取った。刈った穂は棒掛けし、2、3週間天日乾燥させてから学校にある千歯扱きで脱穀する。

さん(10)は「鎌で刈るのが最初は大変だったけれど、こつをつかめば簡単だと思った。新米を食べるのが楽しみ」と話した。

15年ほど前からコメ作りの指導をする農業 さん(62)は「手で刈ることで、コメの大切さが伝わると思う。田植えの時よりもチームワークが良くなっている」と語った。

収穫したコメは来年1月、昨年児童が造ったみそを使っておにぎりを作り、保護者らと味わう予定。